

新潟大学大学間交流協定校
シドニー工科大学 University of Technology, Sydney (オーストラリア)
ファクトシート

本ファクトシートは、本学の大学間交流協定校である、オーストラリア・シドニー工科大学 (University of Technology, Sydney, 以下「UTS」という。) に関連する情報を取りまとめたものである。

なお、UTS 及びオーストラリア国の事情により、以下の情報は、予告なく変更となる場合がある。

※表内の費用は、「1 オーストラリアドル (\$) = 98.13 円 (2014年10月時点の換算レート)」として算出。

A) 大学名 :	シドニー工科大学 (英語名 : University of Technology, Sydney, 略称 : UTS)																											
B) ホームページ :	http://www.uts.edu.au/ (英語)																											
C) 授業暦 :	<ul style="list-style-type: none"> ・春学期(Spring Semester) : 2015年7月~2015年11月 ・秋学期(Autumn Semester) : 2016年2月~2016年6月 <p>(南半球にあるため「春学期」「秋学期」は上記のとおりとなる。)</p> <p style="padding-left: 20px;">➤ http://www.handbook.uts.edu.au/dates_academic.html#2015)</p> <p>※UTS への出願締切は、2015年6月頃を予定している。詳細については、学内選考合格者へ、国際課から別途案内がある。</p>																											
D) 語学要件 :	<p>UTS 出願時に課せられる語学要件は、下記表のとおりである。(※1)</p> <p>(1) オーストラリア言語文化課程コース</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">TOEFL iBT</th> <th style="width: 50%;">IELTS (academic module)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35 以上 (writing 17 以上)</td> <td>5.0 以上 (writing 5.0 以上) (※2)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 正規履修科目コース</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 30%;">TOEFL iBT</th> <th style="width: 40%;">IELTS (academic module)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">学部</td> <td>工学部</td> <td>60 以上 (writing 21 以上)</td> <td>6.0 以上 (writing 6.0 以上)</td> </tr> <tr> <td>教育学部 (小学校)</td> <td>94 以上 (writing 23 以上)</td> <td>7.0 以上 (writing 7.0 以上)</td> </tr> <tr> <td>教育学部 (中学高校) ※英語専攻のみ</td> <td>102 以上 (writing 24 以上)</td> <td>7.5 以上 (speaking & listening 8.0 以上, reading & writing 7.0 以上)</td> </tr> <tr> <td>・デザイン (Animation) 専攻 ・Communications 専攻</td> <td>94 以上 (writing 23 以上)</td> <td>7.0 以上 (writing 7.0 以上)</td> </tr> <tr> <td>上記以外の学部・専攻</td> <td>79 以上 (writing 21 以上)</td> <td>6.5 以上 (writing 6.0 以上)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">大学院</td> <td colspan="2">専攻によって異なる (※3)</td> <td>専攻によって異なる (※3)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 表内の情報は、UTS の事情により、今後予告なく変更となる場合がある。 (※2) writing 以外のモジュールについても、5.0 以上を求められる可能性がある。 (※3) 大学院については選考によって要件が異なるため、別途国際課へ問い合わせること。</p>	TOEFL iBT	IELTS (academic module)	35 以上 (writing 17 以上)	5.0 以上 (writing 5.0 以上) (※2)		TOEFL iBT	IELTS (academic module)	学部	工学部	60 以上 (writing 21 以上)	6.0 以上 (writing 6.0 以上)	教育学部 (小学校)	94 以上 (writing 23 以上)	7.0 以上 (writing 7.0 以上)	教育学部 (中学高校) ※英語専攻のみ	102 以上 (writing 24 以上)	7.5 以上 (speaking & listening 8.0 以上, reading & writing 7.0 以上)	・デザイン (Animation) 専攻 ・Communications 専攻	94 以上 (writing 23 以上)	7.0 以上 (writing 7.0 以上)	上記以外の学部・専攻	79 以上 (writing 21 以上)	6.5 以上 (writing 6.0 以上)	大学院	専攻によって異なる (※3)		専攻によって異なる (※3)
TOEFL iBT	IELTS (academic module)																											
35 以上 (writing 17 以上)	5.0 以上 (writing 5.0 以上) (※2)																											
	TOEFL iBT	IELTS (academic module)																										
学部	工学部	60 以上 (writing 21 以上)	6.0 以上 (writing 6.0 以上)																									
	教育学部 (小学校)	94 以上 (writing 23 以上)	7.0 以上 (writing 7.0 以上)																									
	教育学部 (中学高校) ※英語専攻のみ	102 以上 (writing 24 以上)	7.5 以上 (speaking & listening 8.0 以上, reading & writing 7.0 以上)																									
	・デザイン (Animation) 専攻 ・Communications 専攻	94 以上 (writing 23 以上)	7.0 以上 (writing 7.0 以上)																									
	上記以外の学部・専攻	79 以上 (writing 21 以上)	6.5 以上 (writing 6.0 以上)																									
大学院	専攻によって異なる (※3)		専攻によって異なる (※3)																									
E) 履修科目 :	<p>交換留学生は、下記 (1) 又は (2) のコースを選択することができる。(ただし、UTS が定める語学要件を満たした場合に限る。)</p> <p>(1) オーストラリア言語文化課程コース</p> <p>他国からの留学生と共に、オーストラリアの文化を学びながら、英語力を高めるプログラムである。語学要件を満たした場合は、次の学期で「正規履修科目コース」を選択することができる。</p> <p style="padding-left: 20px;">➤ プログラム概要 : http://www.uts.edu.au/future-students/international-studies/study-areas/australian-language-and-culture-studies-program</p> <p>(2) 正規履修科目コース</p> <p>交換留学生は、本学での専攻に基づき、平均3科目程度履修できる。(ただし、</p>																											

	<p>科目によっては、受講要件が課せられる場合がある。</p> <p>➤ 履修科目一覧：http://www.handbook.uts.edu.au/course_areas.html</p>																																		
F) 学生寮：	<p>・交換留学生は、原則として学生寮に入寮する。(多くは4~8人1部屋。トイレ・シャワーは共同。)</p> <p>・学生寮は複数あり、建物や部屋のタイプが異なるが、必ずしも希望通りの寮に入寮できるとは限らない。また、万が一応募者多数により入寮できなかった場合は、ホームステイかアパートに入居するが、この場合の手続きは各自が行う。</p> <p>＜寮費の目安(過去実績に基づく)＞</p> <p>○1学期間：約\$7,000(=約686,910円)</p> <p>○2学期間：約\$12,000~\$14,000(=約1,177,560円~1,373,820円)</p> <p>※寮や部屋のタイプによって料金は変動する。なお、寮費に食費は含まれない。</p>																																		
G) 査証(ビザ)：	<p>・交換留学生は、渡航前までに査証(ビザ)を取得する必要がある。手続きについては、UTSからの入学許可が下りた後、各自が責任を持って行う。</p> <p>・2014年11月現在の申請料は\$535(=約52,500円)。また、査証取得の条件として、オーストラリア政府の定める健康診断を、東京などの指定病院で受診する必要がある。申請料や交通費など、査証取得にかかる費用については、全て各自が負担する。</p> <p>・2014年5月時点の情報によれば、法律上、学生ビザを有する留学生は、2週間あたり40時間までの就労が認められている。</p> <p>➤ オーストラリア大使館による、ビザに関する情報： http://australia.or.jp/visa/immigration/student.php</p>																																		
H) 医療保険：	<p>・交換留学生は、外国人留学生健康保険(Overseas Student Health Cover, OSHCという)に必ず加入しなければならない。手続きについては、UTSからの入学許可が下りた後、各自が責任を持って行う。</p> <p>＜OSHC保険料の目安(過去実績に基づく)＞</p> <p>○1学期間：\$290(=約28,458円)</p> <p>○2学期間：\$581(=約57,014円)</p> <p>・上記の他、本学では、補償額が十分でない場合に備え、日本の民間保険会社の医療保険に別途加入することを勧めている。日本の民間会社の医療保険に関する詳細については、渡航前に国際課から説明がある。</p>																																		
I) 留学費用：	<p>授業料は新潟大学に納入するため、UTSでの授業料は免除される。その他の費用については、募集要項12に記載のとおり、全て各自で負担する。</p> <p>＜留学費用の目安＞</p> <p>○1学期間：約\$12,095(=約1,186,882円)~</p> <p>○2学期間：約\$21,655(=約2,125,005円)~</p> <p>➤ 上記金額は、下記の情報に基づく。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">1学期間</th> <th colspan="2">2学期間</th> </tr> <tr> <th>オーストラリアドル</th> <th>日本円</th> <th>オーストラリアドル</th> <th>日本円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○学生寮</td> <td>\$7,000.00</td> <td>¥686,910</td> <td>\$12,000.00</td> <td>¥1,177,560</td> </tr> <tr> <td>○食費</td> <td>\$2,600.00</td> <td>¥255,138</td> <td>\$5,200.00</td> <td>¥510,276</td> </tr> <tr> <td>○雑費</td> <td>\$725.00</td> <td>¥71,144</td> <td>\$1,450.00</td> <td>¥142,289</td> </tr> <tr> <td>○教材費</td> <td>\$425.00</td> <td>¥41,705</td> <td>\$850.00</td> <td>¥83,411</td> </tr> <tr> <td>○オーストラリア国における交通費</td> <td>\$520.00</td> <td>¥51,028</td> <td>\$1,040.00</td> <td>¥102,055</td> </tr> </tbody> </table>	項目	1学期間		2学期間		オーストラリアドル	日本円	オーストラリアドル	日本円	○学生寮	\$7,000.00	¥686,910	\$12,000.00	¥1,177,560	○食費	\$2,600.00	¥255,138	\$5,200.00	¥510,276	○雑費	\$725.00	¥71,144	\$1,450.00	¥142,289	○教材費	\$425.00	¥41,705	\$850.00	¥83,411	○オーストラリア国における交通費	\$520.00	¥51,028	\$1,040.00	¥102,055
項目	1学期間		2学期間																																
	オーストラリアドル	日本円	オーストラリアドル	日本円																															
○学生寮	\$7,000.00	¥686,910	\$12,000.00	¥1,177,560																															
○食費	\$2,600.00	¥255,138	\$5,200.00	¥510,276																															
○雑費	\$725.00	¥71,144	\$1,450.00	¥142,289																															
○教材費	\$425.00	¥41,705	\$850.00	¥83,411																															
○オーストラリア国における交通費	\$520.00	¥51,028	\$1,040.00	¥102,055																															

○OSHC 加入料	\$290.00	¥28,458	\$581.00	¥57,014
○査証申請料	\$535.00	¥52,500	\$535.00	¥52,500
合計 (目安)	\$12,095	¥1,186,882	\$21,655	¥2,125,005

※上記金額は、あくまで最低限の目安である。為替レートの影響や、UTS 及びオーストラリア国の事情などにより変動する可能性があるため、応募前に必ず保護者と相談し、十分な資金計画を行うこと。なお、上記表の項目に含まれない事項（新潟大学へ納入する授業料、査証取得にかかるその他の費用、UTS と自宅間の交通費、有効な旅券（パスポート）を持たない場合の旅券申請費用、個人が任意で加入する海外旅行保険、個人の小遣い、その他留学に関わる費用など）は、別途必要となる。

J) 参考情報 :

◆留学体験談 : <http://www.niigata-u.ac.jp/intl/kaigai/taiken.html>

◆2013～2014 年派遣生からの情報 (抜粋) :

※情報は年々変わるため、あくまで参考とすること。

<留学準備>

- ・基本的に現地で全て調達できるので、下記を除き、特別に渡航前に何かを準備する必要はありません。
- 日焼け止め…紫外線は非常に強いので（日本の8倍と聞いたことがあります）、日焼け対策が必要です。オーストラリアの日焼け止めは肌に白く残る品質が悪いものが多いので、日本の日焼け止めを多めに持っていくと良いでしょう。
- 常備薬…日本で飲み慣れているものが無難です。
- コンセント…形が違うので、変換プラグ（0型タイプ220-240V）が必要です。現地到着後に店でも買えますが、日本から1つ持っていった方が安心です。なお、240V まで対応していない電気機器（ドライヤー等）については、電圧変換機を持参するか、現地調達する必要があります。
- デジカメやパソコンなど…物価の高いシドニーにおいて、電化製品は関税などの理由でさらに高くなりますので、日本からの持参をお勧めします。
- ・携帯電話…SIMフリーの携帯を持って行くと、現地でプリペイドのSIMカードを買えば、差替えてそのまま使えるので便利です。（出発前に携帯ショップでSIMロックを解除していくと良いです。）SIMフリーの携帯電話を持っていない場合は、現地で携帯電話をレンタル、又は購入することになります。たとえば、私が購入したボーダフォンは、契約次第で国際電話を1分間25セント程度で使用できました。
- 電子辞書…必須ではありませんが持参をお勧めします。（電池は大量に持参した方が良いでしょう。）

<学生寮>

- ・寮費を分割で払う場合は、渡航後すぐに銀行口座を作る必要がありますが、Commonwealth bank が一番ATMも多いのでお勧めです。
- ・4種類の学生寮（Yura, Gumal, Bulga, Geegal）があり、皆セキュリティがしっかりしています。中でもYuraが一番新しく、設備、施設がよく整っています。
- ・寮生の大部分は留学生ですが、日本人は少数です。（多国籍で、ヨーロッパ、中国、韓国、日本、インドなどからの留学生が住んでいます。）
- ・館内の案内は、すべて英語です。エレベーターに貼られている寮の自治委員会のお知らせの紙に、重要なことが書いてあることがありますので、忘れずにチェックしましょう。
- ・寮の各フロアには、ハウジングスタッフを兼ねる生徒がいます。もし寮に不満がある場合は最初にその生徒に相談すると良いと思います。
- ・門限はありませんが、一定時刻以降の寮生以外の立ち入りは禁止です。また、夜10時以降は、パーティーなどで騒いではいけません。
- ・寮主催のイベントが毎週と言っていいほどあります。たとえば、BBQ パーティや、ヨガ教室などがあります。
- ・寮内では、フリーディナー、ランチ、ブレックファストがよく提供されますので、食費を節約することができます。
- ・ファイヤーアラーム（警報機）が月1回、大音量で鳴ります。寮にいる学生全員が真夜中に外に出されるのが時々ありましたが、ほとんど何もなかったときが多かったです。

- ・部屋には、共有スペース（シャワー、トイレ、キッチン、冷蔵庫、電子レンジ、テレビ、テーブル、ソファ）と個別スペース（勉強机、イス、ベット、暖房、電気スタンド、クローゼット）があります。ただし、布団類とキッチン用品については、到着後購入する必要があります。キッチン用品については、ルームメイトと共有する場合もあります。
- ・寮の部屋は土足のため、気になる人はサンダルを使ったほうが清潔です。
- ・大学の無線 LAN 接続 (wifi) が使用できます。ただし、場所によっては接続が悪いこともあります。
- ・各部屋の共有スペースには冷暖房が設置されており、風量の調節が可能です。ただし、寮によっては、暖房、又は冷房のみの場合があります。
- ・ルームキーはカードですので、破損、損失に注意しましょう。(失くしたら10~30ドルの罰金になります。)
- ・毎週一回、共有スペースを掃除してくれるスタッフが来ます。
- ・寮によっては、音楽室 (ピアノ)、電子ドラム、ビリヤード、卓球台、バーベキュースペース、コンピュータールームがあります。
- ・コインランドリーは寮内にあります。洗濯機と乾燥機は、それぞれ一回2ドルかかり、支払いは学生カードを使います。学生カードへのチャージはインターネット上で簡単に行えますが、クレジットカードが必要です。現金でチャージしたい場合は、図書館の専用チャージ機で行えます。(図書館でコピーをする場合も、学生カードで支払います。)
- ・その他、寮にはフリーストアと呼ばれる場所があります。以前寮に住んでいた学生が置いて行ったものがあり、時期によってはキッチン用品等がそろいます。
- ・水道水は飲むことができますが、体に合わない人も多いと思います。その場合はスーパーでミネラルウォーターを買った方が良いでしょう。
- ・寮内に売店や食堂はありませんが、都会ですので、近郊にコンビニ、スーパー、ファストフード、日本食レストラン、ショッピングモールなど揃っています。
- ・郵便物については PO ボックス (私書箱) がありますので、鍵を開けて、受け取りましょう。

<生活>

- ・1~2月 (夏) 頃でも、パーカー等の上着は必要です。シドニーは一日の寒暖差が激しく、夏でも上着を羽織ることが珍しくありません。体感温度としては、夏は新潟より過ごしやすく、冬は新潟よりも格段に温かいです。
- ・物価はレートにもよりますが、日本より少し高めか、同じくらいだと思います。ただし、ものによってはかなり高いこともあります。例えば 500ml ペットボトルの水が、一本あたり 260 円~300 円程度するケースもありました。
- ・徒歩 5 分程度のところに、Coles や Woolworth という大型スーパーや、ショッピングセンターなどがあるので、大抵のものが手に入ります。家具やキッチン用品は K-mart が安いので、多くの人が利用していました。(ひとつ\$2.8 ですが、ダイソーもあります。)
- ・食事は自炊や外食、テイクアウトが主になるでしょう。日本、中国、韓国、タイ、インド、オーストラリアなど、様々な選択肢があります。大学の周りに日本の食材を売っているお店や、日本食屋も多くあります。また、大学近くに China Town があるので、アジア系食材はそこで手に入ります。大学内にもフードコートやカフェもあり、食事を取ることができます
- ・シドニーの中心地に住むので、イベント、パーティー、観光、スポーツ、ショッピング、映画館などレジャー施設が多く、退屈になることはありません。
- ・学生ビザで入国した留学生については、アルバイトが認められています。学期中は 2 週間で 40 時間、夏休み期間中は無制限で働けるようです。語学力によって働ける場所、時給が全く異なります。日本人学生の多くが働く日本食レストランの時給は\$11~12 程度ですが、英語力があれば、より時給の高い仕事(\$20~30 程度)に就くことができます。また、場所によっても環境や時給が異なる他、英語力がなくとも、一芸に秀でていれば仕事につながる、という場合もあります。

<交通>

- ・夕方頃から、大学から寮までシャトルバスが運行しているので、大学から少し遠い寮に住んでいる人も安心です。
- ・主な移動手段はバスと電車で、地下鉄はありません。大学から徒歩 5 分ほどのところに駅 (Central

Station)があり、交通の便はとても良いです。Central 駅からシドニー空港駅 (International Airport Station) まで1本の電車も通っており、10分で到着します。

- ・City内を移動するときは、555という無料の循環バスがあるので利用すると便利です。
- ・バスと電車は、事前にチケットを買う必要があります。バスチケットはコンビニで、電車のチケットは、窓口か券売機で購入します。
- ・バスは、日本のように1停車ごとの細かい料金は定められておらず、距離によって料金帯が分かれています。シドニー出身者もあまり把握していませんので、都度調べた方が良いでしょう。電車はバスよりも簡単で、チケットを自販機で買うだけです。なお、留学生の場合は、電車もバスも学割カードが使えないようです。(ときどき検問があり、学割カードを使っていることが分かると、高額の罰金になるようです。)
- ・区間内の電車・バス・フェリーが使い放題の、My multi 券もあります。
- ・電車は特に土日に多いですが、「track work」というレール点検の日がランダムにあり、その日はバスが代行運転します。代行バスはとても遅いので、使わない方が良いでしょう。Track workの情報は、Sydney transportの公式サイト (<http://www.transportnsw.info/>) で見ることができます。

<授業面>

- ・様々なサポートが充実しているので、困ったときに助けてくれます。たとえば、IT Centre では、大学のwifi接続が分からないときなど、パソコンやネットワーク関係で相談に乗ってくれました。
- ・大学の履修登録はオンライン上で行います(2学期から行います)。方法が少し難しいと思いますので、チューターや学生センターの人に助けてもらうと良いでしょう。
- ・学生が授業で使う生徒専用ページは、主にUTS OnlineとUTS adminです。UTS Onlineは先生からの授業に関する情報を得るページで、テストや課題の情報を確認できます。授業変更等の情報もこちらに出るので、注意してUTS Onlineを見た方が良いでしょう。UTS adminのページは、履修登録等のシステムに関するページです。たとえば、履修申請をしたり、成績や、テストの場所日程の確認ができます。また、UTS mailは学内専用のメール機能です。
- ・キャンパスが複数あり、学部によって建物が異なるので、最初は迷うことがあります。授業が始まる前に場所を確認しておいた方が良いでしょう。
- ・無遅刻・無欠席、5分前行動を心がけましょう。
- ・英語要件が基準に満たない場合は「オーストラリア言語文化課程コース」に所属します。(生徒のほとんどが日本人です。)1回3時間授業(途中10分間休憩)が週3回あり、授業開始時間は、お昼の12時~13時が多いです。たとえば、コミュニケーション、オーストラリアの自然・レポートの書き方、オーストラリア出身の芸術家について、などを学びました。毎回レポート課題が課されます。テストは、基本的に中間と期末の計2回実施されます。中間試験は英語の適性を見るための筆記型の試験で、期末試験はプレゼンテーションが多いです。・「オーストラリア言語文化課程コース」の講義は英語で行われますが、英語の文法や単語、発音等の語学学習に主眼を置いたものではありません。また、先生は生徒のレベルに合わせてゆっくりと話します。このため、英語能力の向上を目的とするのであれば、自ら学ぶ姿勢というものが非常に大切になります。
- ・英語要件を満たした場合は、「正規履修科目コース」で専門科目を受講することができます。授業によって異なりますが、文系の授業は「1時間の講義形式+2時間のチュートリアル」という、少人数クラスでのディスカッション形式が多いです。講義の内容や課題のスピードは、「オーストラリア言語文化課程」よりも格段に速くなりますので、一生懸命勉強せざるを得ず、必然的に英語能力も向上すると言われていたようです。このことから、可能であれば最初から語学要件を満たして留学することをお勧めします。
- ・英語要件を満たした場合、後期履修のためのTOEFLやIELTSの結果をいつまでに提出して良いのか、どのように履修登録すれば良いのかなど、一連の流れが不透明で大変苦労しました。前期が始まってすぐに、担当教員又は現地国際課スタッフにしっかりと確認した方が良いでしょう。
- ・中間試験終了後に、約2週間の休暇(セメスターブレイク)があります。
- ・通常の授業以外に、HELPSという留学生向けの学習サポートがあり、レポート作成のアドバイスや文法、ライティング、IELTS対策等を、授業外で学ぶことができます。無料で開講している、登録型の英会話授業(conversation@helps)もあり、2時間(休憩なし)の、ディベート型の授業になります。

<治安>

・全体的に、シドニーの治安は悪くありません。ただし、やはり治安の悪い場所があるので、そういった場所に行かない、夜の一人歩きを避けるなど、基本的なことに気を付ける必要があります。たとえば、金曜と土曜の夜は酔っ払いが多いので、夜は出歩かない方が吉です。夜遅くの電車では、酔っ払いを狙ったスリなどもあります。やむを得ず、夜遅くに電車に乗る場合は、乗務員のそば（電車後部か青いランプのついた車両）に座った方が安全です。

・シドニー中心部で治安が良くないと有名な地域は kings cross です。夜の街として人気の繁華街なのですが、もしどうしても行きたい場合は、kings cross に慣れた現地の人と行くべきです。また、シドニーは南部と西部に行くほど治安が悪くなると言われています。大学周辺で注意する地域は Redfern や Surry hills の方面です。西部の Blacktown でのレイプ事件、Liverpool で車に無理やり乗せられそうになった、等のニュースも耳にしましたので、避けた方が良いでしょう。現地出身の人から情報を得て、どの地域が危ないか、常に自衛してください。

<文化・習慣・気質等>

・オーストラリア、特にシドニーは移民が多いため、イギリス系の人はいくらか少なく、アジア系（特に中国系）が多いです。

・渡航前は、アジア系への差別がないか不安でしたが、実際に差別を感じることはありませんでした。（ただし、アジア系を嫌う人は少なからずいます。）

・日本については、良い印象をもつ人が多いです。シーシェパードの話題は出ませんでした。そもそもシーシェパードを知らない人が多く、話題を出しても笑いのネタになる程度です。

・日本人と比べて自己主張する人が多く、一般的に、自己主張はきちんとした方が好まれます。ただし、オーストラリアには様々なバックグラウンドの人がいるので、一概には言えないかもしれません。

・シドニーは移民が大変多いため、多くの方は英語に関して寛容です。こちらが上手く喋れなくても聞こうとしてくれたり、聞き取れなかったらゆっくりと喋ってくれたりします。

・日本人は「正しい英語」というものを意識しすぎてミスを恐れ、あまり話せないという傾向があるようですが、文法がおかしくても気にせず、べらべら喋る人の方が上手くやっていると印象があります。逆にいえば、こちら側が話しかける相手にも移民が多いので、例えばコールセンターに電話したときに、相手の英語が訛りだらけで聞き取り辛い、というようなこともあります。

<その他>

・日本語を勉強している学生が多く、その日本語の授業に行ったり、自分自身が日本語を教えたりする、ということもできます。

・「オーストラリア言語文化課程」では自由時間が比較的多いので、部活動やサークルに入って趣味を作るのが良いかもしれません。（私は、ヨガをやっていました。）

・UTS でのクラブ活動は緩やかで、週 1 回 2~3 時間の活動のみ、というものも少なくありませんので、日本の部活動とはイメージが異なります。その一方で、活動回数が少ないため、たくさんのクラブを掛け持つこともできます。

以上